

○水道水質管理目標設定項目

項目	目標値	区分	説明	主な使われ方
1 アンチモン及びその化合物	0.015mg/L以下	無機物・重金属	鉱山排水や工場排水などの混入によって河川水などで検出されることがあります。	活字、ベアリング、電極、半導体材料
2 ウラン及びその化合物	0.002mg/L以下(暫定)		主に地質に由来して地下水などで検出されることがあります。天然に存在する主要な放射性物質の一つです。	原子力発電用核燃料
3 ニッケル及びその化合物	0.01mg/L以下(暫定)		鉱山排水、工場排水などの混入やニッケルメッキからの溶出によって検出されることがあります。	合金、メッキ、バッテリー
4 亜硝酸態窒素	0.05mg/L以下(暫定)		生活排水、下水、肥料などに由来する有機性窒素化合物が、水や土壌中で分解される過程でつづられます。	窒素肥料、食品防腐剤
5 1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	一般有機物	殺虫剤、有機溶剤として使用される有機化学物質です。	塩化ビニル原料
6 削除			『トランス-1,2-ジクロロエチレン』平成21年度より水質基準項目に変更。	
7 1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下		油脂、ワックスの溶剤などとして使用される有機化学物質です。	溶剤、脱脂剤
8 トルエン	0.2mg/L以下		染料、有機顔料などの原料です。代表的な有機溶剤で、シンナー、接着剤などに広く使用されます。	香料、火薬、ベンゼン原料
9 フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.1mg/L以下		プラスチック添加剤(可塑剤)などとして使用される有機化学物質です。	化粧品、印刷物などの溶剤
10 亜塩素酸	0.6mg/L以下	消毒	二酸化塩素の原料又は分解生成物です。次亜塩素酸ナトリウムの分解生成物です。	漂白剤
11 削除			『塩素酸』平成20年度より水質基準項目に変更。	
12 二酸化塩素	0.6mg/L以下	消毒剤	浄水処理過程において主に酸化剤として使用されます。	セルロース、紙パルプの漂白剤
13 ジクロロアセトニトリル	0.04mg/L以下(暫定)	消毒副生成物	原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。	
14 抱水クロラール	0.03mg/L以下(暫定)			
15 農薬類	1以下	農薬	宇和島市においては、農業団体の『病虫害防除計画』を元に実際に使われた農薬類について検査を実施しています。	殺虫剤、除草剤、殺菌剤
16 残留塩素	1mg/L以下	臭気	水道法では、衛生確保のため塩素消毒を行うことが定められています。残留塩素とは、水道水の中に消毒効果のある状態で残っている塩素のことをいいます。	
17 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10mg/L以上 100mg/L以下	味	カルシウムとマグネシウムの合計量を硬度といい、主として地質によるものです。硬度が低すぎると淡泊でくのない味がし、高すぎるとしつこい味がします。また、硬度が高いと石鹸の泡立ちを悪くします。 0～60:軟水 60～120:中程度の軟水 120～180:硬水 180～:高度の硬水	カルシウム:肥料、さらし粉 マグネシウム:合金、電池
18 マンガン及びその化合物	0.01mg/L以下	着色	地質からや、鉱山排水、工場排水の混入によって河川水などで検出されることがあり、消毒用の塩素で酸化されると黒色を呈することがあります。	合金、乾電池、ガラス
19 遊離炭酸	20mg/L以下	味	水中に溶けている炭酸ガスのことで、水にさわやかな感じを与えますが、多いと刺激が強くなります。また、水道施設に対し腐食などの障害を生じる原因となります。	
20 1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/L以下	臭気	工場排水などの混入によって地下水で検出されることがあり、高濃度に含まれると異臭味の原因となります。	脱脂剤、エアゾール
21 メチル-tert-ブチルエーテル(MTBE)	0.02mg/L以下	一般有機物	オクタン価向上剤やアンチノック剤としてガソリンに添加される有機化学物質です。	オクタン価向上剤、アンチノック剤、溶剤
22 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3mg/L以下	味	有機物の指標として基準項目の「有機物」とは別の測定法により求めた量。水中の有機物などの量を一定の条件下で酸化させるのに必要な過マンガン酸カリウムの量として表したものです。	
23 臭気強度(TON)	3以下	臭気	臭気の強さを定量的に表す方法で、水の臭気がほとんど感知できなくなるまで無臭味水で希釈し、臭気を感じなくなった時の希釈倍数で臭気の強さを示したものです。	
24 蒸発残留物	30mg/L以上・ 200mg/L以下	味	水を蒸発させたときに得られる残留物のことで、主な成分はカルシウム、マグネシウム、ケイ酸などの塩類及び有機物です。残留物が多いと苦み、渋みなどを付け、適度に含まれるとまろやかさを出すとされます。	
25 濁度	1度以下	基礎的性状	水の濁りの程度を示すもので、基準値の範囲内であれば濁りのない透明な水といえます。	
26 pH値	7.5程度	腐食	0から14の数値で表され、pH7が中性、7から小さくなるほど酸性が強くなり、7より大きくなるほどアルカリ性が強くなります。	
27 腐食性(ランゲリア指数)	-1程度以上とし、極力0に近づける		水が金属を腐食させる程度を判定する指標で、数値が負の値で絶対値が大きくなるほど水の腐食傾向は強くなります。	
28 従属栄養細菌	1ml検水で 形成集落2000以下(暫定)			
29 1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	一般有機物	殺虫剤、有機溶剤として使用される有機化学物質です。	塩化ビニル原料
30 アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量にして 0.1mg/L以下	着色	工場排水などの混入や、水処理に用いられるアルミニウム系凝集剤に由来して検出されることがあり、高濃度に含まれると白濁の原因となります。	アルマイト製品、電線、ダイカスト、印刷インク